

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 1年次生 上柿沙綾

1. はじめに

この度、国際交流基金の助成を受け、2019年3月4日から3月18日の2週間、語学留学としてオーストラリアのゴールドコーストを訪問したことを報告いたします。

Kingscliffに位置するNorth Coast TAFE Kingscliff Campusという州立高等職業訓練専門学校で英語や現地の文化、医療システムなどを学びました。英語力の向上とともに日本の医療システムとの違いを学び、またホームステイを通して自分自身の意見をはっきりと人に伝えられるようにすることを目標に今回の語学留学に取り組みました。

2. 授業

• English class

ホストファミリーとの会話や日々の授業で新しく学んだ単語をそれぞれが出し合い、協力して単語カードを作成して意味を英語で説明するといったゲームなどを繰り返し行うことで楽しくたくさんの英単語を覚えることができました。また、覚えた単語をホストファミリーとの会話で使うことができたため、コミュニケーションをよりたくさんとることができました。授業の最終日には地元の小学校へ行き、その生徒に日本の文化を紹介しました。同時にたくさんの子供に英語で説明しなければならないこともありましたが、自分の知っている単語で何とかして人に伝えるというよう練習になりました。

• Pharmacy class

この授業ではおもに、オーストラリアの医療システムや医薬品の分類などについて学習しました。日本のシステムとは異なることがたくさんあり、学んでいてとても楽しかったです。また実際に現地の薬局へ行き、処方箋をみて薬を薬剤師の方が準備している様子なども見学することができました。

3. ホームステイでの生活

滞在中はホームステイをしながら学校に通っていました。ホストファミリーとコミュニケーションをとることができるか不安でしたが、放課後に一緒に家の近くのビーチを散歩したりスーパーへ買い物に行ったりしたことでたくさん会話をすることができました。また、近所の人と一緒にカンガルーの肉のバーベキューという日本には絶対にはできないことも体験しました。その家にも一緒に語学留学に参加していた先輩たちがおり、その方たちと一緒にオーストラリアで有名なデザートのパブロバを作り

ました。その先輩たちとも仲良くなるとともに、他のホストファミリーとも仲を深めることができました。週末はホストファミリーの孫の誕生日会をするためにブリスベンへ行きました。短い時間でしたが、たくさんのファミリーの親戚が優しく話しかけてくださったのでとても楽しく過ごすことができました。

4. 最後に

今回の語学留学は私にとって初めての海外留学、ホームステイでした。行くことを決めたものの自分の英語がちゃんと通じるのか、ホストファミリーと仲良く打ち解けられるのか、など不安なことがたくさんあり出発するまでとても心配でした。しかし事前に旅行会社の方が開催してくださったワークショップや大学の E-chat に参加することで英語だけでなく現地の人との関わり方や生活、文化、注意しておくべき点などを学ぶことで心の準備をすることができました。その事前のワークショップで思ったことは口に出して言わなければわからないよと言われました。もともと自分の意見を人前で言わない性格でしたが、ホームステイ中は何とかして伝えなければ！という思いでホストファミリーに自分の考えを伝えるように心がけていました。そうした経験、姿勢を日本に帰国してからも忘れずに生活していけたらこの留学へ行くにあたり目標にしていたことを達成できたと言えるのではないかと思います。



図1 ホストマザーとの散歩で



図2 一緒に作ったパブロバ



図3 English class の先生と